

## 景色通信 Vol.1

### 『環境配慮型のワイアールシート』

カラープランニングセンターでは、景観に配慮した色彩を採用したブルーシートのブラウン・ベージュ版「ワイアールシート」をシートメーカーに企画提案し、開発商品化してもらいました。

ブルーシートは、身近な仮設材料として様々な場面で活用されていますが、その通称にも用いられている鮮やかなブルーは、日本の穏やかな色彩景観を妨げる阻害要因にもなっています。

この製品に用いられている10YRという色相は、日本の建築物等の外装色の色彩としても出現頻度が高く、木材や岩石、土砂などとも共通性のある色彩であるため、田園景観や歴史的まちなみ景観から現代の都市的景観に至るまで、様々なシーンに違和感なく調和する色彩です。

2005年6月に景観法が全面施行され、全国各地で美しい景観づくりの取り組みが行われ、世界遺産への登録や歴史的まちなみ保存などの動きが広がっています。

この製品は、このような景観づくりに取り組む官公庁や地方行政団体、地域市民、協力企業に、ブルーシートの代替品としてご使用いただくとともに、個人的なバーベキューやキャンプ、お花見などの身近な利用に際しても、周囲の自然や季節の花々などを引き立たせるアウトドア用品として幅広く活用して頂くことを願っております。(永田泰弘)

- 企画・カラーデザイン：カラープランニングセンター
- 製造元：森下化学工業株式会社 E-mail. [yamashita@marsol.co.jp](mailto:yamashita@marsol.co.jp)



写真は、ワイアールシートを使用した景観（左）と従来のブルーシートでの景観（右）